

令和2年度使用教科用図書 答申資料（第2地区）

道 徳		東 書（東京書籍株式会社）
総 評		<p>ねらいに迫る発問が最後に設定され、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に役に立つよう配慮されている。</p> <p>国語・社会・体育等「他教科との関連」が紹介されており、物事を多面的・多角的に考えることができるように工夫されている。</p> <p>判型が小さく児童にとって軽くて持ち運びしやすい。</p> <p>挿絵が小さく、特に低学年では大きさに配慮を要する。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ ねらいに迫る発問が単元の最後に設定されていて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に役に立つよう配慮されている。④
	2 内容の取扱い	○ 国語・社会・体育等「他教科との関連」が紹介されており、物事を多面的・多角的に考えることができるように工夫されている。①
	3 外的要素	○ 判型が小さく児童にとって軽くて持ち運びしやすい。① ○ 指導項目が分かりやすい。②
	4 構成・配列	○ 学んだことから、これからの思いや課題について考えたりできるような発問例がある。②
	5 資料・その他	○ 「つながる・広がる」のページは、写真が多く、学習内容に適したものになっている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 「話し合い」の仕方の部分においては、形式が提示されているが、主体的・対話的な学習のためには配慮を要する。
	2 内容の取扱い	○ 悩みや葛藤場面の心のゆれに着目した発問例が少ない。②
	3 外的要素	○ 挿絵が小さい。特に低学年では大きさに配慮を要する。③
	4 構成・配列	○ 1年生の早い時期に、分量の多い教材が配列されており、入門期の道徳科としてはやや難しい。①
	5 資料・その他	○ 読み物資料が少なく、あまり児童が興味を示さないと思われるものがある。② ○ 別冊として使える道徳「ノート」がない。①

道 徳		学図（学校図書株式会社）
総 評		<p>児童に身近な人物や様々な生き方を教材として取り上げることで、自己を見つめ、人としての生き方について深く考えられるように配慮されている。</p> <p>問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習を登場人物の心情理解に加えて、児童が自分のこととして考えられるように工夫されている。</p> <p>「道徳の学習を始めよう」は、学習の手順や方法が児童に分かりにくい。</p> <p>各教材の冒頭に「主題名」が挙げられていないため、道徳的な価値と関連付けた学習をする際に配慮を要する。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 児童に身近な人物や様々な生き方を教材として取り上げることで、自己を見つめ、人としての生き方について深く考えられるように配慮されている。①</p> <p>○ 問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習を登場人物の心情理解に加えて、児童が自分のこととして考えられるように工夫されている。⑥</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 文字の大きさは適切であり、それぞれの題材の内容の分量も学年の発達段階に応じて適切である。②</p> <p>○ 4つの視点毎にページの色が分けられているのが分かりやすい。④</p>
	3 外的要素	<p>○ 「内容項目別一覧」では、「キャリア教育」「いじめ対応」「情報モラル」など関連する現代的な諸課題を対応させているため、指導者が活用しやすい。①</p> <p>○ 発達段階への配慮とともに、学校行事や他教科等の学習内容、伝統的な行事の実施時期などを考慮して教材が配列されている。①</p>
	4 構成・配列	<p>○ 児童に身近な人物や様々な生き方を教材として取り上げることで、自己を見つめ、人としての生き方について深く考えられるように配慮されている。①</p> <p>○ 問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習を登場人物の心情理解に加えて、児童が自分のこととして考えられるように工夫されている。⑥</p>
	5 資料・その他	<p>○ 「まなび」ノートでは、友達の考えを記入できるようになっており、自分以外に多様な考えがあることをつかめるような構成になっている。①</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 感動を与える教材や名作が多いが、学年によってはやや難しいものもあり、1時間で学習を終えるのに配慮と工夫が必要な教材がある。③</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 各教材の冒頭に「主題名」が挙げられていないため、児童が道徳的な価値と関連付けた思考を進めにくいと考えられる。</p>
	3 外的要素	<p>○ 挿絵や写真は鮮明でよいが、必要以上に大きいところがある。③</p> <p>○ 「まなび」を記入するマス目が細かい方眼になっていて使いにくい。②</p>
	4 構成・配列	<p>○ 低学年の「まなび」ノートは、文字が多すぎて分かりにくい。①</p>
	5 資料・その他	<p>○ 「道徳の学習を始めよう」は、学習の手順や方法が児童に分かりにくい。②</p>

道 徳		教出（教育出版株式会社）
総 評		<p>「役になりきってみよう」のコーナーが多く、児童の発達段階を踏まえ、豊かな表現力を育成できるよう配慮されている。</p> <p>悩みや葛藤等、心の揺れの段階を児童が深く考えることができる発問があり、最後に内容項目に沿った発問が「特に考えてほしいこと」として取り上げられている。</p> <p>資料の内容には、児童の視点から馴染みにくいと思われるものがある。</p> <p>父親を扱った教材が多く、多面的・多角的な考えや人間尊重の精神の取り扱いの点で配慮を要する。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 「役になりきってみよう」のコーナーが多く、児童の発達段階を踏まえ、豊かな表現力を育成できるよう配慮されている。④
	2 内容の取扱い	○ 悩みや葛藤等、心の揺れの段階を児童が深く考えることができる発問があり、最後に内容項目に沿った発問が「特に考えてほしいこと」として取り上げられている。②
	3 外的要素	○ 文字は高学年でも大きく行間も空いているので読みやすく、文字に抵抗を示す児童にとっても親しみやすい。④
	4 構成・配列	○ 内容項目の全体について取り扱い、学年、学期に応じて効果的に行えるように配列されている。① ○ ふりがながあり、指導しやすい。①
	5 資料・その他	○ 資料は学習内容に応じて正確に配列されている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 何をどのように対話し、深い学びに導くのが、教科書だけでは分かりにくいいため、指導する際に配慮を要する。③
	2 内容の取扱い	○ 自らを振り返るような工夫は、あまり見られない。⑤ ○ 父親を扱った教材が多く、多面的・多角的な考えや人間尊重の精神の取り扱いの点で配慮を要する。①
	3 外的要素	○ 紙が薄く、製本がやや頼りない。① ○ 挿絵が小さい。高学年でも挿絵は重要である。③ ○ 表紙のイラストが親しみにくい。③
	4 構成・配列	○ これからの思いや課題について考える発問例が少ない。②
	5 資料・その他	○ 別冊として使える道徳「ノート」がない。① ○ 資料の内容には、児童の視点から馴染みにくいと思われるものがある。②

道 徳		光村（光村図書出版株式会社）
総 評		<p>児童が主体的に学習できるよう、呼びかけや話し合いの工夫の仕方などが分かりやすく示されている。</p> <p>発問が気持ちを問うだけでなく、様々な考えを引き出せるよう工夫されている。</p> <p>暗いイメージの挿絵や表情が分かりづらい挿絵があり、指導の際に配慮を要する。</p> <p>判型が小さい分、文字も他の発行者と比べて小さめで、分量が多いものは、45分間の学習指導に配慮が必要である。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 児童が主体的に学習できるよう、呼びかけや話し合いの工夫の仕方などが分かりやすく示されている。③
	2 内容の取扱い	○ 発問が気持ちを問うだけでなく、様々な考えを引き出せるよう工夫されている。① ○ 教材の最後に学習の手引きがあり、学習の進め方や何を考えるべきかが明確であるため、どの児童にとっても学びやすくなっている。⑥
	3 外的要素	○ B5変形版で、他の発行者と比べて小さく扱いやすい。文字列がすっきりして読みやすい。② ○ 挿絵や表紙の絵が親しみやすく、問題を考える際の手がかりとしても使える。③
	4 構成・配列	○ 3学期分のまとまりに分かれており、まとまりごとに重点をおいて配列されている。1学期に周囲との関係に重点をおいた教材が配列されているので、学級経営にも生かしやすい。①
	5 資料・その他	○ 役割演技のヒントがたくさん書かれていたり、関連資料の紹介があったりするため、児童の関心を高め意欲を引き出しやすい。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし
	2 内容の取扱い	○ 特になし
	3 外的要素	○ 暗いイメージの挿絵や表情が分かりづらい挿絵がある。② ○ 判型が小さい分、文字も他の発行者と比べて小さめで、分量が多いものは、45分間の学習指導に配慮が必要である。②
	4 構成・配列	○ 資料ごとに見開き単位になっていないため、集中できない児童もいるのではないかと思う。②
	5 資料・その他	○ 「考えよう 話し合おう」の文言が多く、扱いにくい。① ○ 「学びの記録」が学習のまとまりごとの最終ページにあるが、全て自由記述のため、書きづらい児童もいることが予想される。（ページを探しにくい。）②

道 徳		日 文（日本文教出版株式会社）
総 評		<p>「人との関わりユニット」として、全学年で複数回、いじめについて考える教材が重点として配置されており、安全な社会の実現や豊かな心の育成の実現に配慮されている。</p> <p>道徳学習の教材として実践されてきた資料が多く、児童にとって深い学びができる。</p> <p>現代の多様な課題に関する教材や、オリンピックやパラリンピックを取り扱った教材や、いじめ問題を重点的に取り扱った教材など適切に配置されている。</p> <p>ノートと教科書を合わせた厚みや重さの点で、取り扱う際に配慮を要する。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 「人との関わりユニット」として、全学年に複数回、いじめについて考える教材が重点として配置されており、安全な社会の実現や豊かな心の育成の実現に配慮されている。⑤
	2 内容の取扱い	○ 道徳学習の教材として実践されてきた資料が多く、児童にとって深い学びができる。① ○ 現代の多様な課題について、適切に取り扱われている。オリンピックやパラリンピックを取り扱った教材や、いじめ問題を重点的に扱うための教材が豊富に配列されている。④
	3 外的要素	○ ユニバーサルデザインの観点から、色覚的に見やすく、挿絵の大きさも適切で、児童がよく考えるための手助けになるものが多い。④
	4 構成・配列	○ 学年の発達段階に合わせて適切に構成・配列されている。①
	5 資料・その他	○ ノートが別冊になっているので、指導者が評価しやすい。1つの発問のみで下半分は自由記述ができるので、「学期を通して分かったこと」など、児童の気づきを書かせやすい。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 学習の手引きには、写真や吹き出しがあるが、対話が苦手な児童など、深い考えを導く際には配慮を要する。③
	2 内容の取扱い	○ 教材末の発問の中には、児童が考えにくいものもある。①
	3 外的要素	○ ノートも合わせると厚さや重さの点で取り扱う際に配慮を要する。①
	4 構成・配列	○ 特になし。
	5 資料・その他	○ 読み物が多いが、児童の興味をひくには不十分な資料も多い。① ○ 「命」を扱う教材が複数あるため、配慮が必要と考えられる。①

道 徳		光文（株式会社光文書院）
総 評		<p>3年「きまりがあるわけ」4年「きまりを守る心」など、きまりを守ることについて深く考えさせ、行動に移せるよう工夫されている。</p> <p>身近な社会的課題について、自分との関係において考えられるよう、学校生活の場面だけでなく多様な教材を効果的に取り扱っている。</p> <p>巻末にある「学びの足あと」は、何を書かせるとういかに分かりにくいいため、指導する際に工夫・配慮を要する。</p> <p>「まとめる」「広げる」の問いかけが抽象的で書いたり話したりすることに課題がある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 3年「きまりがあるわけ」4年「きまりを守る心」など、きまりを守ることについて深く考えさせ、行動に移せるよう工夫されている。①
	2 内容の取扱い	○ 身近な社会的課題について、自分との関係において考えられるよう、学校生活の場面だけでなく多様な教材を効果的に取り扱っている。④ ○ 3年「きまりは何のため」「クラスのまとまり」といった身近な教材で問題解決的な学習ができるよう工夫されている。⑥ ○ 児童にとって身近に感じられる地域の特色を生かした教材が取り上げられている。③
	3 外的要素	○ 「目次」のページに、「内容項目」だけでなく「〇年生でとくに考えたいこと」などが「マークの意味」として詳しく表示されていて、指導に生かせるよう配慮がみられる。④
	4 構成・配列	○ 各学年で取り上げられている内容項目を設定し、教材を複数・連続して配列している。① ○ 負担のない程度のコラムを設けて、児童の考えを広げられるよう工夫されている。②
	5 資料・その他	○ 「道徳の学習」について、学習の方法や場面、教科書の使い方などが丁寧に説明されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 高学年では発問が抽象的になる傾向がみられ、主体的・対話的な学習の展開には配慮を要する。④
	2 内容の取扱い	○ 巻末にある「学びの足あと」は、何を書かせるとういかに分かりにくいため指導する際に工夫・配慮を要する。③
	3 外的要素	○ 判型が大きく、別冊のノートがないのにも関わらず、分厚く重い。① ○ 文字の大きさ、フォントが他の発行者と比べて読みにくい。③
	4 構成・配列	○ 道徳の「ノート」が別冊としていないため、指導の効率化が図りづらい。②
	5 資料・その他	○ 「まとめる」「広げる」の問いかけが抽象的で書いたり話したりすることに課題がある。②

道 徳		学研（株式会社学研教育みらい）
総 評		<p>道徳的価値について資料には明確に言葉で書き表されていないため、かえって児童が主体的に考えることができる。</p> <p>低学年においては大切な資料の挿絵や写真が表情豊かで、指導のねらいに即したものになっている。</p> <p>問題提起が細かすぎるため、学習課題が不明確にならないよう配慮が必要である。教科書に書き込むところがあるが、低学年には難しく、扱いに配慮を要する。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 道徳的価値について資料には明確に言葉で書き表されていないため、かえって児童が主体的に考えることができる。③
	2 内容の取扱い	○ 低学年において大切な資料の挿絵や写真が表情豊かで、指導のねらいに即したものになっている。③ ○ 実話が多く扱われており、実在する人物を自分と比べながら、物事を多角的・多面的に考えられる内容になっている。①
	3 外的要素	○ 表紙が児童にとって親しみやすいデザインになっている。① ○ 文字の大きさが児童の発達段階に適している。②
	4 構成・配列	○ 6年間を見通して、内容項目についての学びがより深いものになるように配列されている。①
	5 資料・その他	○ 児童にとって分かりやすい文章の表現、言葉遣いになっている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし
	2 内容の取扱い	○ 問題提起が細かすぎるため、学習課題が不明確にならないよう配慮が必要である。③ ○ 教科書に書き込む際、低学年には扱いが難しく配慮を要する。③ ○ 一部にしか、ふりがながない。④
	3 外的要素	○ 判型がやや大きく、児童によっては道具箱に入らない。①
	4 構成・配列	○ 特になし。
	5 資料・その他	○ 写真や挿絵がカラフルになった反面、視覚からの刺激に敏感な児童には配慮が必要である。① ○ 道徳の「ノート」ではなく、ワークシート集であるので印刷する必要がある。①

道 徳		廣あかつき（廣濟堂あかつき株式会社）
総 評		<p>危険なことから身を守る方法を、中学年・高学年の教科書では具体的に扱っている。</p> <p>児童の日常生活を振り返り、反省したり課題を見つけたりしやすい文章構成になっている。</p> <p>物語に使われている言葉がやや難しく、補足説明を要する資料が複数ある。</p> <p>問題解決的な学習や、多面的・多角的に道徳的な価値を学習するためには工夫・配慮を要する。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 危険なことから身を守る方法を、中学年・高学年の教科書では具体的に扱っている。①
	2 内容の取扱い	○ 児童の日常生活を振り返り、反省したり課題を見つけたりしやすい文章構成になっている。④⑤
	3 外的要素	○ 挿絵や写真の色使いが温かい印象で、児童が親しみやすいデザインになっている。③④ ○ 写真や挿絵の色が鮮明すぎず、程よい程度である。④
	4 構成・配列	○ 学年が上がるにつれて、学んだことをさらに深く考えられるような構成になっている。学年が上がるにつれて、伝記の扱いが多くなっている。①
	5 資料・その他	○ 「学習の道すじ」に本時のめあてと発問が書かれており、児童が何について考えるとよいか明確になっている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 資料中に道徳的価値が端的に書き表されているが、主体的・対話的学習には配慮を要する。③
	2 内容の取扱い	○ 問題解決的な学習ではなく、やや価値が一面的に指導する傾向がみられる点で配慮を要する。⑥
	3 外的要素	○ 他者と比較して、文字数が多く、文字の大きさも小さい。②
	4 構成・配列	○ 内容項目の重なりが多い。①
	5 資料・その他	○ 物語に使われている言葉がやや難しく、補足説明を要する資料が複数ある。① ○ 道徳の「ノート」が授業での発問に対応していない。①